日刊 動労千葉

82.12.7

No. 1213

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

臨調・行革粉砕！ 三里塚ジェット闘争勝利！

『学ぼう、行動しよう、闘おう。』を合言葉に／幕張支部 第5回定期大会開かる

超反動中曽根"田中内閣打倒、83年決戦勝利にむけ、決意固める

支部通信員・発

幕張支部は11月30日第5回定期大会を開催し83年決戦勝利にむけての決意を固め闘う方針を確立した。

大会は明日(12月1日)からのパスの廃止・現協改悪といった攻撃の前日とあって、終始、怒りと緊張に満ちたものとなった。15時から18時までという短い時間であったが、議長の吉野幸成君(検修)の的確な議事進行により、運動・財政方針の活発な討論を経て満場一致採択し、ただちに年末闘争に突入することを決定した。

「逆流突き破り、不屈に前進した'82年」＝白井支部長あいさつ＝

白井支部長は挨拶の中で、まず日夜奮闘してきた組合員に敬意を表し、「'82年の闘いの中でかちとってきた成果をひきつぎ、更に団結を強め、83年決戦勝利、中曽根内閣打倒に総力を上げよう」と訴え、参加者もこの一年間をふり返り、闘いの中で得た自信と確信こそ勝利の核心であることを実感としてつかんだ。

闘う国労との共闘さらに前進

来賓には忙しい中、伊藤千葉地区労議長、小川義人千葉市議、鈴木国労幕張電車区分会長、動労千葉本部より水野副委員長、中江顧問、布施、片岡、林執行委員長が参加し、各々から熱い連帯の挨拶をうけた。特に「57・1ダイ改」を動労「本部」革マルの裏切り・敵対をのりこえて共に闘いぬいてきた国労の仲間たちには心からの拍手が送られ、参加者一同、動労「本部」革マル一掃、国鉄労働運動の戦闘的再生、動労大改革を誓い合った。

中江氏、力強く決意表明

中江氏は、この間の船橋市議選必勝第一次統一行動での組合員各位の奮闘にお礼を述べると共に、署名が八〇〇〇名を越えたことを報告すると会場は「イギナーシ」の声援で一段と盛り上った。ここ数年、先頭で奮闘されている中江氏は疲れも見せず気迫に満ちた態度で「人民大衆の怒りを結集し、中曽根警察内閣をうち倒すため全力を尽す」と決意表明された。

幕張支部では、真藤副委員長を選対委員長にすえ、第一次行動では123名が行動に立ったが、一人一人がその反響、手ごたえをひしと実感しており、12月の第二次行動を通して必勝にむけ更に頑張ることを確認した。

'83年の勝利にむけ、4大課題を確立

滝口書記長から83年を闘う方針が提起され満場一致採択された。提起は、支部の活動の目標を四つの柱にまとめ、

第一は、臨調、国鉄労働運動解体攻撃を粉砕し、反合・仲裁一年末手当獲得の闘い。

第二は、労農連帯を堅持し、三里塚二期阻止、反戦反核闘争の勝利。反動中曽根内閣打倒のたたかい。

第三は、鉄労と完全に手を組んで闘う国鉄労働者に襲いかかるファシスト動労革マル＝国鉄労働者の敵を一掃し、動労大改革をかちとる闘い。闘う国労の仲間との共闘強化。反弾圧・組織強化。

第四は、中江顧問の船橋市議選必勝の闘い。

「学び、行動し、闘おう」「一人ひとりが活動家へ」

以上の4大課題を全員で確認し、最後に、「勝利するために一人ひとりが自覚を高め、団結を一層固めよう」「学び行動し、闘い、そして団結・連帯しよう」を合言葉に嵐の83年に猛然と立ちむかうことを全員の力強い拍手で確認し、支部大会を成功裡に終了した。

当面のスケジュール

12月8日「第5回定期委員会」
〃 10日「動労千葉総決起集会」
〃13～29日「中江候補必勝、第二次行動」
〃21日「第13回・6.12デッキ上げ事件公判」

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！